

第 78 回国民スポーツ大会リハーサル大会

EVENT MEASUREMENT REGULATIONS

1. 一般要件

1.1 選手権に参加するすべての艇（スパー、セール、装備を含む）はクラス規則および本レギュレーション、レース公示、および帆走指示書に含まれる規則に従い検査される。

1.2 大会事前計測は以下により行われる。

-計測記録用紙を各自ダウンロードし必要事項を記載しておくこと。

-指定された計測受付場所に、下記項目 2 に示された書類を持参し検査を受ける

少なくとも以下自ら確認しておくこと。：

艇の重量（各クラス規則）、船体とセールの計測証明書への適合又はクラスルールに定められた要件への適合。

TC (Technical Committee) は、状況に応じてレース後の検査を行うことがある。

1.3 規則 78 に従い、競技者はクラス規則に従って艇を維持する責任がある（規則 78 の目的のために、競技者はオーナーとみなされる）。

1.4 クラスルールにより本大会で使用できるセール、スパー、フォイルの数はレース公示に記載されている数を超えてはならない。

各クラス規則で要求されるセールボタン/ステッカーのないセール、またセール番号、クラスエンブレムのないセールは使用できない。クラス規則に規定されている通り、競技者によって使用される全てのセールは、クラス規則に従って、証明されていなければならない。又はクラス規則の要件に合致していなければならない。

1.5 470、420、スナイプ クラスは計測証明書（MC）およびメジャメントフォーム(MF)又はメジャメントデータシート(MDS)をいつでも提示できるよう持参していなければならない。（海上で提示を求めることはない）また、上記書類は原本を持参するものとする。

2. 大会計測

2.1 大会計測は、NOR 記載の日程に従い実施される。

計測の場所とスケジュールは、別途指示するものとする。

2.2 各艇は、以下に従い大会事前計測を受けなければならない。

-指定された計測場所に、必要事項記入済の計測記録用紙および装備一式を持参すること。

（装備一式には、艇、スパー、アペンデージ、セール、携帯装備品、個人用浮揚用具(PFD)、トラピーズハーネス曳航用ロープ、曳航用ロープを含む。）

-470、420、スナイプ 各クラスは計測証明書（MC）およびメジャメントフォーム(MF)又はメジャメントデータ

-シート(MDS)を持参すること。

-艇の状態は以下のとおりとする。

・470 クラス

乾燥していること。

マストは倒しておくこと

センターボードラダーボードは取り外しておくこと

タイマーは取り外しておくこと

・420 クラス

乾燥していること。

マストは倒しておくこと

センターボードラダーボードは取り外しておくこと

タイマーは取り外しておくこと

コントロールライン、シート類はすべて取り外しておくこと

・スナイプクラス

乾燥していること。

マストは倒しておくこと

タイマーは取り外しておくこと

・ILCA クラス (ILCA6 および ILCA7)

ボトムマストをマストホールに差しブームを取り付け、カニンガム、メインシートの艀装を施しておくこと。

・SS クラス

マストを立てブームを取り付け艀装を施しておくこと。

・国体ウインドサーフィングクラス

ボードの重量計測を実施します。乾燥状態で計測を受けてください。

センターボード・フィン、艀装した状態で計測を受けてください。

セールエリア計測を行います。(2枚/1艇まで使用可能)

ライフジャケットの確認を行います。

・テクノ 293 クラス

シリアル番号を確認します。

ライフジャケットの確認を行います。

-計測記録用紙に従い必要事項のチェックを行う。

2.3 大会事前計測には少なくとも1名の乗員または責任のある立場の者(監督等)が立ち会う事。

3. 検査・登録が済んだ艇および艀備の変更

3.1 大会計測が終了した艇には大会リミテーションマーク(スタンプ又はステッカー)がTCによって付される。

3.2 計測記録用紙に記載されたハル、スパー、セール及びその他艀備はECMの書面による許可なしにレガッタ

エリア(各艇の置き場)から持ち出してはならない。

- 3.3 変更：艇が大会事前計測/登録を完了した後、日常的な整備とフィッティングの調整を除き、大会期間中変更は行われてはならない。
- 3.4 修理：大会事前計測を経た後、艇、セールまたは装備の修理を希望する競技者は、TCまたはRC（TC不在の場合）に申請するものとする。許可が与えられた場合、関係する競技者は、修理をTCまたはRCが承認する時間を確保しなければならない。
- 3.5 交換：ポート、セール、スパーまたは使用する装備の交換の申請は、TC に提出されなければならない。装備の交換はセール、スパーまたは装備が深刻な損傷を受け、故意に酷使されておらず、可能な時間内に十分に修理できないことが証明された場合のみ承認される。新しい装備は使用前に TC によって検査されなければならない。
ただし、レースの直前に装備が失われたり、破損したり交換されたり修理されたりした場合、競技者はレース開始前にTCまたはRCまたは Jury に伝え、レースが終了し、陸上に到着後直ちに、抗議締切時刻までに、上記に記載の通り、TC へ申請しなければならない。

4. レース後の検査

- 4.1 すべての艇はレガッタ中にいつでも、TC によってポート、スパー、セール、そのあの装備および乗員の衣服および装備を検査されることがあり、違反があれば TC によって抗議される。
- 4.2 各レース後に、TC によってランダムに選択された競技者が、水上または陸上で検査のために選ばれたことを TC のメンバーが通知することができる（そのような検査のための特別にあらかじめ割り当てられた領域を指定できる）。前者の場合（水上にて通知）艇はフィニッシュ・エリアから誘導され、陸上に戻った後、できるだけ早く検査されなければならない。
- 4.3 乗員の少なくとも 1 人の代表者は、艇の検査の間、立ち合うことが要求される。
- 4.4 濡れた状態のため、クラス規則で要求される最低重量を船が乾いた状態で超えていると TC の代表者が確信できない場合、翌朝のレース前に計量のために艇を拘束することができる。
- 4.5 クラス規則に規定されている測定値と異なる場合、または TC の代理人が事前の承認なしに装備の改造、修理または交換を行ったと判断する理由がある場合、テクニカル委員会は抗議をする。